



国の動き

今年11月、スポーツ庁・文化庁より

「**学校部活動及び新たな地域クラブ活動の在り方等に関する総合的なガイドライン(案)**」が出されました。これは部活動の地域移行に関する**国の考え方**を示すものです。ガイドライン(案)には次のような内容が書かれています。

「学校部活動及び新たな地域クラブ活動の在り方等に関する総合的なガイドライン(案)」

《部活動における今日的な課題》

少子化

…活動を続けていくことの難しさ

指導者の
専門性

…顧問による指導の難しさ

子どもたちの活動の場を確保し、
今後長く続けられる体制をつくる
必要がある！

《これからの方向性》

部活動指導員や、専門性をもった地域の指導者が中心とした体制づくりについて
丁寧に協議をしていく。

学校部活動の価値を
大切にする。

子どもたちの願いや、
地域の実情を考慮する。

地域の活動の大会参加に
ついて見直しをする。

ガイドライン(案)の詳細をご覧になりたい場合はこちらのQRコードを読み込んでください。



袋井市では

7月には、部活動の「地域移行」について、「『子ども第一』で考えていきます」という袋井市の考え方をお伝えしました。今回は、保護者の皆様からいただいているいくつかの御質問についてお答えします。

Q 1

令和5年度からは子どもたちの活動はなくなりますか？

A 1

なりません。

現在、顧問の教員が中心となり指導をしていますが、可能な部活から少しずつ指導者を地域の方や部活動指導員にお願いしていきます。

Q 3

地域移行をするのは運動部だけですか？

A 3

運動部と文化部あわせて考えていきます。

Q 2

全ての部活動が一斉に地域移行するのですか？

A 2

一斉に地域移行するわけではありません。それぞれの部活動ごとに生徒数や活動場所、使用する道具など実態が異なります。市・学校・地域が丁寧に協議を重ね、体制が整ったところから少しずつ地域移行を進めていきます。

子どもたちの活動機会がなくなるわけではありません。

時間をかけて話し合いを進め、**地域の方々を指導者とした体制へ移行していきます。**

今後検討していく必要があることは…

活動場所

活動に掛かる費用の負担

指導者の発掘

道具の整備

等



「責任感を高める」
「連帯感を育てる」等の
部活動の教育的な価値を
これからも大切にしてい
きます。



袋井市としては、「**学校ごと、競技・活動ごとに丁寧に検討していくこと**」を大切にし、可能な部活動から地域移行についての検討を始めていきます。

また、保護者の皆様や子どもたちの思いを大切にするために、本年度中にアンケートを実施しますので御協力よろしくお願ひします。

袋井市教育委員会学校教育課・生涯学習課
スポーツ政策課